

【現症】高度の肥満体以外特に理学的所見に異常認めず。頭部は全体に薄く特に後頭部に目立つ円形脱毛症と認められた。二便正常，陽実症と診断。

【経過】両肩と後頭部に鍼治療し葛根湯エキス剤7.5g×14日投与。再診より柴胡加竜骨牡蛎湯7.5gを追加して鍼治療と併用した。葛根湯を6週間，柴胡加竜骨牡蛎湯4週間分を以後中止。鍼治療のみ1-2週間隔で受診している。3ヵ月目頃から脱毛が少なくなり6ヵ月目にはほぼ正常となった。

【考察】肩凝りの自覚症状が急速に改善し，鍼の刺激が頭皮血流改善に作用し毛根部を活性化させたと思われる。漢方薬の併用が症状変化にどの程度寄与したかは今後の検討を要する。

#### 4 牛車腎気丸が多愁訴に著効を示した高齢患者の一例

荒木 進

荒木内科医院

症例は90歳，女性。

【既往歴】慢性関節リウマチ(RA)と高血圧，胃潰瘍などでT病院よりザンタック，ペルジピン，ラシックスを投薬中。

【主訴】背部痛，腰痛，便秘，両下肢の浮腫としびれ，食欲不振

【現病歴】約6カ月前より大便で這ってトイレに行く以外はベッド上で寝たきり状態。RAによる両手指関節の変形あり，やせ形，精神状態(記憶力など)は高齢の割りに良好。BP 140/80。両足は浮腫状で冷たく，足背動脈も触れない。両足をベッド下に下げると2-3分でチアノーゼ(暗赤色)となる。

【東洋医学的所見】腹部は全体に軟弱だが圧痛なし。舌は紅で苔(-)，裂紋(+)。脈は沈，細，弱。

【経過】H13年9月8日初回往診。東洋医学的に腎虚，瘀血，水毒状態と判断し牛車腎気丸を投与。他にラニザック(H2Bloker)，ラジストミンL(降圧剤)，ルプラック(利尿剤)も併用。1ヵ

月後には両足の浮腫，背部痛，腰痛，便秘がほぼ消失し食欲もでて，著効を示した。

#### 5 補中益気湯にて自力食事摂取可能となった一症例

中田 真司・小林 豊

ゆきぐに大和総合病院和漢診療科

症例は82歳，女性。

【現病歴】鬱病，高血圧，脳塞栓後遺症にて近医通院中。平成12年転倒を契機に寝たきりとなった。平成14年4月5日嘔吐後の発熱を主訴に誤嚥性肺炎の診断で当科第一回入院。

【経過】上部消化管内視鏡検査では逆流性食道炎を認めた。入院時より，発語も少なく，自力座位保持が不能。全介助にて嚥下食とプロトンポンプ阻害薬を開始したが，咀嚼行為に対して易疲労性で，食欲もなく，拒否的だった。間欠的に発熱と低酸素血症を繰り返したため，黄耆建中湯を試みたが無効。

5月14日誤嚥性肺炎の再燃にて入院。補中益気湯を投与したところ，自力座位可能となり，食事を自力で摂取するようになった。発語も多くなり，発熱はその後も認めていない。

【結語】補中益気湯にて精神神経活動の改善がみられるとともに，自力食事摂取可能となり，補剤を考える上で興味深い症例と考えられた。

#### 6 華岡青洲の里を訪れて

高畑与四夫

たかはた医院

【緒言】今から198年前，漢方薬による全身麻酔を開発し乳癌手術に成功した医師が紀州の田舎にいた。平成11年春，当時の春林軒塾が現在の町の人々が中心となり復元された。演者は寄付の要請に賛同。その後完成を知る。昨年その地を訪れることが出来て医師としての業績の実際を知ることができた。青洲の手術は想像以上に広範，多数あり一部を報告する。

【方法】和歌山県立医科大学名誉教授上山英明